

【主担当部局：農林水産部】

県民の皆さんとめざす姿（令和5年度末での到達目標）

地域の魅力を最大限に活用し、心豊かで安心できる農山漁村に、多くの人が住みたい、住み続けたい、あるいは訪れたいと感じ、農山漁村の活性化が進んでいます。

主指標						
目標項目	令和元年度	2年度		3年度	4年度	5年度
	現状値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
農山漁村の活性化につながる新たな取組数（累計）		17 取組		34 取組		70 取組
	—					
目標項目の説明と令和3年度目標値の考え方						
目標項目の説明	農山漁村地域における豊かな地域資源を生かした新たな経済活動につながる取組数					
3年度目標値の考え方	農山漁村地域における豊かな地域資源を生かした取組は、地域の活性化につながることから、毎年新たな取組を増加させ、4年間で合計 70 取組を実施することをめざして目標を設定しました。					

副指標						
目標項目	令和元年度	2年度		3年度	4年度	5年度
	現状値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
多面的機能維持・発揮のための地域活動を行う農業集落率		54.9%		56.1%		58.5%
	53.7%					
ため池および排水機場の整備により被害が未然に防止される面積		3,574ha		3,708ha		4,376ha
	3,357ha					

現状と課題

- ①農山漁村は、豊かな自然環境、良好な景観や食文化など多彩な地域資源を有していますが、地理的・経済的条件を背景とした人口減少や高齢化に伴う人材不足などから、その魅力を十分に生かしきれていない状況となっています。農山漁村の振興を図るため、さまざまな主体と連携し、農山漁村地域の資源を活用したビジネス創出の取組を支援するとともに、自然体験フィールドを生かした新たな価値協創と自然体験活動の体制強化、さらには新型コロナウイルス感染症の拡大による社会変化に対応した人材育成に取り組む必要があります。
- ②農山漁村は、人口減少や高齢化に伴う集落機能の低下により、国土の保全、水源のかん養、自然環境の保全、良好な景観の保全、文化の伝承などの多面的機能に支障が生じています。これらの大切な財産である農山漁村の多面的機能を維持・発揮させるためには、地域内外のさまざまな主体が参画・協働し、農山漁村における農地・水路・農道などの地域資源の適切な保全管理を行い、農業を継続させることが必要です。
- ③頻発・激甚化する豪雨や大規模地震等の自然災害に伴い、農業用ため池における堤体の決壊や、老朽化が進んでいる排水機場の機能低下などから、農村に被害を及ぼすおそれがあります。安全で安心な農村の暮らしを守るためには、ハード・ソフトの両面から防災・減災対策を進めることが必要です。

令和3年度の取組方向

- ①新型コロナウイルス感染症対策を講じたうえで、さまざまな主体と連携し、農山漁村地域の資源を活用したビジネス創出の取組を促進するとともに、引き続き、「三重まるごと自然体験構想 2020」に基づき、市町を越えた連携による「自然体験」と「食」「泊」を組み合わせた滞在交流や自然体験プログラムを活用した健康づくりの推進に取り組めます。さらに、農山漁村地域を応援する若者と農山漁村地域をつなぐ新たな仕組みづくりに産学官が連携して取り組めます。
- ②農業・農村の持つ多面的機能を発揮させるため、若い世代や女性などの多様な人材や企業等さまざまな主体が参画する地域資源の維持・保全活動に取り組む体制づくりを進めるとともに、令和3年度末に活動が区切りを迎える組織が多いことから、関係機関と連携し、活動の継続に向けた働きかけを行います。また、地域資源の維持・保全活動や、中山間地域の農業生産活動、有機農業など環境にやさしい農業生産活動等に取り組む組織を支援します。
- ③安全・安心な農村づくりに向け、「三重県農業農村整備計画」に沿って、農業用ため池や排水機場等の豪雨・耐震化対策および長寿命化などのハード整備と、流域治水としての田んぼ等の高度利用、地域の防災意識向上に向けた啓発活動や防災体制構築などのソフト対策を組み合わせた農村地域の防災・減災対策に取り組めます。また、農業用ため池については、令和2年7月に設立した「ため池保全サポートセンターみえ」により地域での適切な維持管理を支援するとともに、市町など関係機関と連携しながら、管理体制の強化を図ります。

主な事業

①自然体験活動のフィールドを生かした新たな価値協創事業

【基本事業名：25301 人や産業が元気な農山漁村づくり】

予算額：(R2) 8,400千円 → (R3) 6,300千円

事業概要：「三重まるごと自然体験構想 2020」に基づき、自然体験プログラムを活用した健康づくりや、市町を越えた連携による「自然体験」「食」「泊」を組み合わせた滞在交流を推進するとともに、子どもの自然体験の普及促進に取り組みます。これらの取組により農山漁村地域の交流人口を拡大し、農山漁村地域の振興につなげます。

②三重まるごと自然体験展開事業【基本事業名：25301 人や産業が元気な農山漁村づくり】

予算額：(R2) 12,557千円 → (R3) 9,418千円

事業概要：三重県が誇る豊かな自然を「体験」という形で生かし、国内外から人を呼び込み交流の拡大を図るため、自然体験活動を展開する人材の育成、活動団体を核とした連携の促進、県内外への積極的な情報発信などに取り組みます。

③(新)みえアウトドア・ヤングサポーター育成事業

【基本事業名：25301 人や産業が元気な農山漁村づくり】

予算額：(R2) — 千円 → (R3) 7,200千円

事業概要：若年の社会人や大学生等が、空き時間を利用して、気軽に、三重県の農山漁村地域を訪れ、自然体験から学んだり、働いたりすることで、地域で暮らす人々との連携が深化し、季節行事や催事、発災時の復旧支援に参加するなど、より長期の滞在、関係人口の増加、ひいては地域活性化につながるよう、産官学が連携して、機会創出・仕組みづくりに取り組みます。

④中山間地農業ルネッサンス推進事業【基本事業名：25301 人や産業が元気な農山漁村づくり】

予算額：(R2) 3,000千円 → (R3) 3,500千円

事業概要：収益力向上や担い手の確保など、中山間地域農業の抱える課題を解決するため、地域農業の特色を生かした多様な取組の実践につなげるための人材育成や、モデル事例の普及促進に取り組みます。

⑤多面的機能支払事業【基本事業名：25302 農山漁村の有する多面的機能の維持・発揮】

予算額：(R2) 1,103,864千円 → (R3) 1,103,864千円

事業概要：農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るため、農地・農道・水路等の地域資源の保全や景観形成などに向けた地域の共同活動を支援するとともに、活動の継続に向けた働きかけや農村の地域資源を保全していく体制づくりに取り組みます。

⑥中山間地域等直接支払事業【基本事業名：25302 農山漁村の有する多面的機能の維持・発揮】

予算額：(R2) 217,160千円 → (R3) 222,000千円

事業概要：中山間地域等における多面的機能の維持・発揮を図るため、農業の生産条件の不利性を補正する直接支払を実施するとともに、将来にわたって営農が継続される体制の整備に取り組みます。

⑦農業環境価値創出事業【基本事業名：25302 農山漁村の有する多面的機能の維持・発揮】

予算額：(R2) 20,310千円 → (R3) 21,327千円

事業概要：有機農業やIPM（総合的病害虫防除）など、環境にやさしい農業への取組を支援するとともに、有機JAS認証制度等に係る指導人材の育成などに取り組みます。

⑧県営中山間地域総合整備事業【基本事業名：25303 安全・安心な農村づくり】

予算額：(R2) 458,650千円 → (R3) 1,111,050千円

事業概要：中山間地域の条件不利を解消するため、地域の特性を生かした農業生産基盤の整備を効果的に行うとともに、集落道路等の農村生活環境の整備を総合的に推進します。

⑨県営ため池等整備事業【基本事業名：25303 安全・安心な農村づくり】

予算額：(R2) 1,188,164千円 → (R3) 1,288,290千円

事業概要：農業用ため池の決壊等による被害を防止するため、耐震性能不足や老朽化した農業用ため池等の整備に取り組みます。

⑩基幹土地改良施設防災機能拡充保全事業【基本事業名：25303 安全・安心な農村づくり】

予算額：(R2) 881,575千円 → (R3) 1,697,050千円

事業概要：集中豪雨等の自然災害から生命や財産を守るため、排水機場の整備に取り組みます。